



＜少年I＞ 1975年

高見修司と子どもたちの 「人びと展」

2026
8.13 土 – **8.18** 木 土日を除く 9:00-15:00

高見修司と子どもたちの「人びと展」開催にあたって

高見修司は1950(昭和25)年、加古川市に生まれました。中央大学英文科在学中に父の死にあい、大学を中退。飛び込んだ画材店で油絵具とカンパスを買い求め、衝動的に絵を描き始めます。一時は南洋のボナベ島へ永住を決意して赴きましたが、病気になり帰国。その後は、金沢、鎌倉、横須賀などに移り住みました。1980(昭和55)年、新潟に居を定めた頃からは、水彩画をよく描くようになります。家の外にあるアトリエと呼ぶには粗末な物置小屋で、絵を描く毎日。いくつもの職を転々とし、絵を描きたいばかりに、臨時雇いで通しました。アメリカの詩人で画家のアーヴィング・ステットナーと文通を始めた最中、病に倒れ、1989(平成元)年に38歳で亡くなります。その遺作は知人や友人、コレクターたちの手に渡り、うち10点をJA兵庫南に寄贈いただきました。本展では、高見修司の初期作品である油彩画と加古川市立両荘みらい学園の子どもたちが描いた人物画を展示。描かなければ生きられなかった「絵描き」の魂に触れるとともに、子どもたちの今を感じていただければ幸いです。

開催
場所

JA兵庫南 加古川北支店 2階
加古川市上荘町都染667 TEL／079-428-2153

入館料 無料